

› リフォームを取り巻く生活者動向

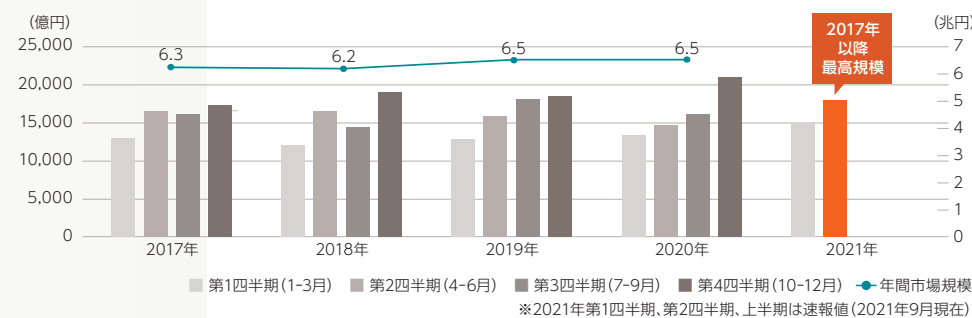
～お得な住宅支援制度で、省エネで快適な暮らしを実現～

LIXIL



子育て中の家族にとって、住まいは大きな関心事のひとつです。特に若い世代では、「中古住宅&リフォーム」を中心に検討している方が増えています(図1)。今回は中古住宅の省エネリフォームを助けてくれる制度と商品を解説します。

コロナ禍でもリフォーム件数は増加



省エネ住宅は光熱費が抑えられ、健康で、心地よく暮らせる

そもそも住まいの「省エネ性能」や「省エネルギー」と聞いてもピンとこない人も多いかもしれません。新築/中古、一戸建て/マンションなど、さまざまありますが、どんな住まいでも省エネ性を高めるメリットは大きく4つあります。

(1) 部屋ごとの温度差が減り、ヒートショックリスクを軽減、(2) 結露が軽減されてカビやダニの発生が減少、(3) 冷暖房の効率改善により、光熱費が安くなる、(4) 電気やガスの消費量が減ることでCO2の削減でき、環境に良い、です。

とはいえ、省エネ性を高めるとなるとリフォーム費や建築費がアップしてしまうため、「メリットはわかるけれど、そこまでお金はかけられない」と諦めてしまう人も多かったのです。

日本の住宅は耐震性には優れていますが省エネ性、断熱性や気密性といった面では世界に遅れを取っています。そして、現在、世界的な環境意識の高まりから日本の住宅の省エネ化は急務です。そこで、国、自治体、メーカーなどが一体となって、省エネ住宅の取得をあと押ししています。

子育て世代の省エネ住宅を手助けする「こどもみらい住宅支援事業」

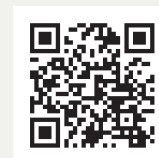
2022年1月、日本の住宅の省エネ化を推進すべく、「省エネ性能の高い住宅」と「子育て世帯」「若者世帯」にフォーカスした新制度ができました。国土交通省が発表した「こどもみらい住宅支援事業」です。どのようなものか、制度の概要をご紹介します。



こどもみらい住宅支援事業<リフォーム>

対象となる家族	一般世帯 子育て世帯または若者夫婦世帯は補助上限を引き上げ
対象となる住まい	リフォームする住宅を所有し、居住している
期間	2021年11月26日から2022年10月31日(予定)までに契約締結、完成
対象となる工事	こどもみらい住宅業者と工事請負契約を締結し、リフォーム工事を行う。工事内容は開口部の断熱改修、外壁や屋根天井、床の断熱改修、エコ住宅設備の設置 等

※詳細条件は弊社のこどもみらい住宅支援事業のサイトをご確認ください。
<https://www.lixil.co.jp/kodomomirai/>





**中古住宅+省エネリフォームで
45万～60万円を助成**

気になる助成金額ですが、まずは若者世帯、子育て世代が中古住宅を購入して、省エネ性の高いリフォームをした場合から解説します。一般世帯よりも補助金額上限が引き上げられ、優遇されます。この場合、リフォーム費用は最小で5万円、最大60万円まで助成されます。

(1) 子育て世帯&若者世帯とは

子育て世帯	2003年4月2日以降に生まれた子を育てている家庭
若者夫婦世帯	申請時点で夫婦であること 夫婦いずれかが1981年4月2日以降生まれの世帯

**(2) 中古住宅を購入した場合と住んでいる家を
リフォームした場合**

中古住宅を購入して リフォーム	1戸最大60万円
現在の住んでいる家を リフォーム	1戸最大45万円

※一般世帯でも安心R住宅を購入した場合は1戸最大45万円、居住している住まいをリフォームするのであれば1戸最大30万円まで助成

※安心R住宅とは耐震性があり、インスペクション(建物の状況調査)などがされていて、リフォームの提案がなされた住まいのこと。

※詳細条件はこどもみらい住宅支援事業よりご確認ください
<https://kodomo-mirai.mlit.go.jp/>



中古住宅を省エネリフォームする場合は、若い世代や子育て世代ほど金額は手厚くなりますが、住んでいる人の世代に関係なく利用できるのがポイントです。たとえば、築10年～築20年程度の住まいに暮らしていると、「給湯器の調子が悪い」「洗面所や脱衣所の寒さが気になる」という人も多いことでしょう。そうした人はこの制度を利用し、内窓をつけたり、浴室を「高断熱浴槽」+「節湯水栓」にしたり、トイレを「節水型」にするといったリフォームが考えられます。

電気やガス、水といったさまざまな資源やエネルギーを抑制でき、冒頭にも紹介した通り、家計面でも節約になるのがうれしいところです。

**東京都も独自の助成制度を拡充。
窓や玄関リフォームも対象に**

国だけでなく、地方自治体も独自に動き出しています。

たとえば東京都では、窓やドアの断熱リフォームのための独自の助成制度「家庭における熱の有効利用促進事業」を設けていますが、令和3年度の補正予算案によって、助成率が1/6から1/3に引き上げられ、「高断熱窓」で最大100万円、「高断熱ドア」で最大16万円が助成されるようになりました。

申請受付期間は2022年1月1日～3月31日まででしたが、大変好評だったため3月上旬に予算額に達し、終了となりました。現在、来年度予算案が審議中ですが、2022年4月からは「災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業」として続く見込みです。そのため、今、東京都に住んでいて、窓やドアの省エネリフォームを考えていた

り、蓄電池を考えている人にとっては心強い制度といえます。

※詳細条件は東京都公式サイト、クールネット・東京をご確認ください。

<https://www.tokyo-co2down.jp>



**国と自治体の制度は併用可能な
ことも。情報収集がカギに**

国交省の「こどもみらい住宅支援事業」と東京都の「災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業」は併用できる予定ですので、断熱リフォームはかなり手厚い支援が受けられることとなります。ただ、併用する場合、それぞれ手続きを行わなくてはならない、対象となる製品かどうか確認する必要があるなど、手間がかかる面もあります。また、自治体の制度によっては利用できるのは1つのみという場合もあります。

こうした注意点はありますが、いずれにしても、住まいのリフォームを考えている人にとって大変お得な制度であることは間違いありません。断熱リフォームの助成制度があるのは、現在は一部の自治体ですが、こうした動きは加速し、波及していくことでしょう。「中古住宅を買ってリフォームしたいな」「今の家をリフォームしたいな」と考えている人は、国の制度はもちろん、お住まいの地域や自治体の制度について、下調べをしておくといでしょう。

住宅支援機構も省エネリフォーム向け融資制度を創設予定

国、自治体とならんで、2022年度からは「住宅金融支援機構」も新しい融資制度をつくり、省エネリフォームをサポートしてくれる予定です。

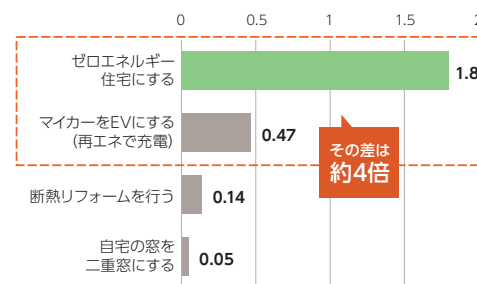
というのも、今までリフォームローン、なかでも省エネ改修をしようと思っても、ローンの選択肢が少なく、思うように選べないといった課題がありました。そこで新しい融資制度を設けて、リフォームローンが組みやすくしようという試みがなされています。まだ国交省や住宅支援機構で検討されている段階ですが、新しいローンができれば、より一層リフォームがしやすくなることでしょう。

内窓や玄関ドア、家をまるごと断熱する製品など、幅広く登場

また、省エネリフォーム、断熱リフォームが身近なものになるよう、さまざまな商品が続々と登場しています。たとえば、窓の省エネリフォームを考えているのであれば、「インプラス」「リプラス」という2つの商品から選ぶことができます。「インプラス」は今ある窓の内側に、もう一つ窓を設置する商品、「リプラス」は今ある窓を簡単に高性能窓にできる商品です。どちらも窓の省エネ性能を向上させるほか、結露の軽減につながります。

リフォームの予算やデザイン性、メンテナンスのしやすさなどお客様のニーズに合わせて、お選びいただけます。また、あわせて玄関ドアも断熱性の高い「リシェント」などに交換するリフォームもおすすめです。施工も素早く最短1日で完了しますし、玄関と窓をあわせて手入れをすることで、家全体の断熱性が高められ、さらに快適に過ごせます。

住まいと自動車、食に関する温室効果ガス削減効果(単位:トン)



※その行動を日本人1人が1年間続けた場合に、平均的に削減できる温室効果ガスの排出量(二酸化炭素換算)

出典:国立研究開発法人 国立環境研究所「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの効果を定量化～「カーボンフットプリント」からみた移動・住居・食・レジャー・消費財利用の転換による脱炭素社会への道筋～」

また、築年数を重ねていて、そもそも家が「無断熱」という状態であれば、窓や玄関といった一部だけでなく、建物全体の断熱性や気密性を高める「まるごと断熱リフォーム」を検討してみてください。

「窓際が寒い」「結露が気になる」「光熱費が高い」、こうした日々のお悩みは、省エネリフォームでまると解消できます。この機会に、ぜひ、断熱リフォームについて検討してみたいかがでしょうか。



LIXIL

LIXILでは、窓や玄関ドアの断熱リフォームに加え、ひと部屋ごとに対応した「ひとへや断熱リフォーム」や、住宅一棟まるごと改修可能な「まるごと断熱リフォーム」などお客様のニーズに応じたさまざまなラインアップをご用意しています。お住まいの家を断熱することによって、家族の大切な健康を守るのと同時に、光熱費やCO2排出量を抑え、「#省エネ住まいで幸せに」を実現します。ぜひこの機会にご自宅の“断熱”を見直してみませんか。LIXILは今後も、地球規模の気候変動問題の解決に向けて、住宅の高性能化を推進し、誰もが願う豊かで快適な住まいの実現に貢献します。

<https://www.lixil.co.jp/shoenesumai/dannetsu/>

